青森まで日帰りで行けたのだから名古屋日帰りくらい余裕

2年 ラムネちゃん

第78回一高祭にて発行した「鉄路12号」では、「青森日帰り旅行」というタイトルで記事を一本書かせて頂きました。このおおよそ常識的ではない記事が、友人知人、三大行事で疲弊しておられる社畜の生徒の皆様、さらには本校の先生方からも(!!) 意外にも大好評を頂きました。読んで頂きありがとうございます。なるほど、土浦一高の皆様は奇人を見るのがお好きなんですね。以下、寄せられたご意見を一部ですがご紹介させて頂きます。

・もっと余裕ある日に泊まりで行ってきなよ。(友人)

・青森になぜ附属中生がいるのか。(社畜の皆様)

・青森は日帰りで行くところではありません。(鉄研部員←この方も日帰りで行ってた)

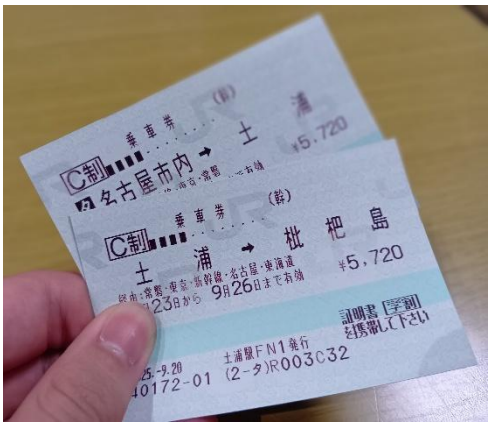
言い訳ではありませんが、このような意見を頂戴することは想定範囲内でした。**常人の皆さんが青森に日帰りでは行かないことくらい私でも知っています。**しかしながら、「もっと余裕ある日に」というご意見は、確かに時間の余裕さの面で改善の余地があると感じました。青森日帰りは確かに余裕が無かったですね。これは反省。[1]

ご安心ください。皆様が次の挑戦を期待していることは、手に取るように分かっております。次なるTargetは、日帰りではちょっと遠いがギリギリ常識的という絶妙なラインを攻めました。今回はしっかり観光の時間を確保しています。今回の目的地は、愛知県は名古屋です。どうして名古屋なのか知りたい人は脚注を参照。[2]

というわけでこの記事は、2月に青森に日帰りで行った人が名古屋に日帰りで行くおはなしです。要するに前回の青森日帰りの二番煎じです。

Chapter 1 ：切符の手配

さて、前回は最強のフリー切符である「キュンパス」を使いましたが、今回は通常の乗車券を使います。最近流行りのダイナミックパックとか色々な手段を比較検討しましたが、最安は学割の乗車券に無割引の特急券を買い足すことでした。スマートＥＸって未成年利用不可なんですね。早得を使ってグリーン車で帰ってこようと思ったのに。



土浦一高には中学校から5年間通っていますが、実はこれが初めての学割乗車券購入です。申請・購入は初めてですがスムーズに行えました。買った切符が右の画像です。値段が変わらなかったので、行きの切符は枇杷島まで買いました。もしかしたら行くかもしれないので。どこですか枇杷島って。名古屋の隣の駅らしいです。時間があったら行きましょう。窓口の駅員さんも枇杷島までの切符を買う珍客は初めてだったようで、「ﾋﾞﾜｼﾞﾏ…?」と聞き返されました。正常な反応です。面倒な客で申し訳ないです。

行きの新幹線は自由席で十分でしょう。東京駅なら並べば座れます。東京駅で特急券も買えばいいですね。

帰りの特急券は、時間が読めないので名古屋で買いましょう。混雑状況を見て指定席にしましょう。

---

[1] この部分をAIに修正させたのですが、AIに「論理的な奇行」と青森日帰りを一蹴されました。核心を突いてきますね。ちなみにAIの編集はボツにし、私の考えた文章そのままで載せています、AIもまだまだですね。

[2] 歩く会を完歩された方はお解りでしょうか。今年の歩く会のGATEは名古屋城でしたね？ 私はこう見えてGATE委員長です。そういうことです。この旅行は鉄研部員の奇行ではなく、GATE委員長によるGATEの視察です。…ということにしておきましょう。交通費は自腹です。78回生のGATE委員長であり鉄研部長であった先輩も、一高祭のGATEの視察として札幌時計台を見に行っていました。

Chapter 2 ：名古屋まで一直線

旅行日は 9 月 23 日(火祝)。行きはテンポよくいきましょう。なに、行程が過密なせいで写真を撮っている暇がなかったってことです。



【1 列車目：JR 常磐線 特急ひたち 2 号　土浦 7:32 発→東京 8:39 着】

珍しく行きから特急課金です。本当に珍しいです。JRE ポイントが貯まるのでよし。英単語帳[3]で勉強するためです。…そのつもりだったのですけどね。なんと席に座ってからリュックの中に**犬がいないことが発覚**。何のために特急課金したのでしょうか。気づいたら東京に着いていました。

【2 列車目：東海道新幹線 のぞみ 63 号　東京 8:48 発→名古屋 10:25 着】

券売機を叩き、特急券を光の速さで購入。ホームを瞬時に判断し、目指すは 1 号車。自分でもビックリ(ﾟ Д ﾟ)です。東京駅で東海道新幹線の乗り換えって特急券買うのを含めてから 9 分で出来るのですね。(勿論、駅構内を走ったり、駆け込み乗車をしたりはしていませんよ。)



朝からアイスは自重しました。名古屋ならすぐ着くのでね。帰りにしましょう。三島を過ぎたあたりで、東海道新幹線の検札に初めて遭遇。新幹線で検札されたことがないので新鮮な体験です。

10:30、名古屋に着いちゃいました。名古屋って近場なのですね。[4]お昼にはちょっと早いですが、小腹がすきました。ランチタイムにしましょう。名古屋グルメといえばきしめんですよね。

お邪魔したのは、名古屋駅新幹線ホームにあります「きしめん住よし」さん。「きしめん」420 円を注文。立ち食いスタイルの、きしめん専門店です。お安いですね。食券を渡し、給水器から水を取ってきているうちに着丼。さすがスピーディ。味は最高です。油揚げに甘みがありました。いなり寿司に使っているものなのでしょうか。

Chapter 3 ：名古屋観光



改札を出まして、地下鉄ホームへ。まずは名古屋城へ向かいましょう。改札窓口でフリー切符を購入。地下鉄とバスが乗り放題で 620 円。東京より安い。メトロの 24 時間券も 700 円に値上げしてしまいましたからね。

以下、名古屋市内で乗った列車は忘れましたので書きません。[5]

着きました。名古屋城です。始めて来ました。公園がかなり広く、10 分くらい歩きましたかね？かなり大きいです。天守閣は工事中で立ち入れず。残念。GATE の視察を済ませ、2 時間くらいの滞在で名古屋城を去りました。

---

[3] 単語テストに出てくる「単語犬」がかなり好きです。

[4] 尤も、前回の青森日帰りの冒頭が「青森は近場です。」なので、名古屋が近場なのは当然の話です。

[5] 余談ですが、名城線に乗るとき、「新瑞橋方面」と書いてある看板を発見。読めませんでした。「あらたまばし」と読むそうです。これは…そこまで難読ではなかったですね。

名古屋城を離れてしばし観光しましょう。





上の写真は、春日井の方へ向かうのに使った、大曽根から小幡緑地を通って守山・高蔵寺方面に向かう「名古屋ガイドウェイバス」。ただのバスではなく、専用軌道を走り、路面にひいてあるレールに沿って進みます。進行方向はレールが決めるので、運転士さんはなんとハンドルから手を放して運転(！)





熱田神宮に寄り道し、名古屋までは名鉄線で移動。名鉄の金山駅は、かの有名な「ﾄﾞｳﾜｧ!ｾﾝﾅﾅﾋｬｸ!!」の聖地です。

名古屋駅まで戻ってきました。小腹が空いたのでお邪魔したのは、名古屋駅の地下街にあります「スガキヤ 名古屋駅エスカ店」さん。スガキヤといえばラーメンフォークですよね。[6]私は箸で食べましたけど。「ラーメン」490 円を注文。特徴的な魚介の効いている豚骨スープでおいしいです。インスタント麺では何度か食べたことがありますが、店舗で食べるのは初めて。新幹線に乗る前のちょうどいい食事になりました。



Chapter 4 ：座れる座席をください

名古屋駅でお土産を購入。さて、特急券を買って新幹線で帰りましょう。本日分の指定席、今すぐ乗車は…なんだか全体的に赤いバツ印が多いですね。のぞみ・ひかり号ともに指定席は満席です。まあ、焦るのはまだ早

[6] ラーメンフォークをお土産に購入しようか真剣に悩んだのですけど、丼とのセットで 4990 円という素晴らしいお値段なので断念。ラーメンフォークだけで売ってくれませんかね。

いです。何も普通車にこだわる必要はありません。座りたいだけならグリーン車という選択肢もあります。グリーン車指定席は…こちらも満席。

これは困りましたね。帰りの新幹線が自由席確定になりました。でも、自由席でもちゃんと並べば大抵座れますからね。妥協です。早めにホームに行って、空いている列車を見極めて並びましょう。

東海道新幹線の自由席で座席を得るには、主に以下の 3 つのポイントを押さえるのが良いらしいです。
・始発駅から乗る←この時間に名古屋駅始発の のぞみ・ひかり号は無いので今回は使えません
・新大阪駅始発 or 新大阪駅行きに乗る←新大阪から先の神戸や岡山の利用客は使わないので割と空いています
・列車間隔が近いものに乗る←東海道新幹線では、のぞみ号の列車間隔が若干まばらです。8 分待ったと思えば、次の列車は 2 分後に来ることも。列車間隔が狭い場合、後続の列車を狙うことで座りやすくなるらしいです。

16:30 ごろにホームに到着。次々に来るのぞみ・ひかり号の自由席を見極めていきましょう。
〈16:29 発 のぞみ 160 号：自由席の行列に並べず断念。〉
〈16:41 発 のぞみ 416 号：自由席の行列に並べず断念。でも結構空いていた。〉
〈16:43 発 ひかり 514 号：帰宅できる最終のひかり号。自由席混雑のため断念。〉
〈16:49 発 のぞみ 418 号：前の列車との間隔があいていたため列に並べず。〉
〈16:51 発 のぞみ 244 号：デッキまで人があふれていたので断念。〉
〈16:57 発 のぞみ 34 号：博多始発かつ間隔が開くコンディション最悪の のぞみ号。混雑のため断念。〉

さて、ここまで 6 本の新幹線を見送りました。次の 16:59 発 のぞみ 420 号は帰宅可能な最後の列車[7]かつ、最も条件が良く、空いていると思われる列車です。先ほどの のぞみ号との間隔は 2 分。私は待機列の先頭に並んでいます。これなら座れるでしょう。自由席で座れるなら安く上がってよかったです。名古屋、いい街でした。また来ます。

【3 列車目：東海道新幹線 のぞみ 420 号　名古屋 16:59 発→新横浜 18:16 着】



さて、新幹線は名古屋の街を離れていきます。私が確保したスペースは 6 号車。のぞみ号の自由席は 1 号車と 2 号車のはずなのに。そんな私のスペースがこちら ⇨ **デッキです。結局座れませんでした。**自由席は 551 の紙袋とミャクミャクのぬいぐるみを持った、万博帰りの人たちによってすべて埋まっていました。万博の需要が大きいことをすっかり忘れてました。無念。とりあえず次の駅までは立ちで行きましょう。次の駅は 337km 先の新横浜です。これは絶望。

【4 列車目：東海道新幹線 ひかり 516 号　新横浜 18:25 発→品川 18:35 着】

耐えられなかったので新横浜でのぞみ号を降りました。足が限界を迎えています。新横浜から自由席に移動しても良かったのですが、名古屋で見送ったあといつの間にか抜かしていた後続のひかり号のほうが自由席が多いので、こちらに乗りましょう。信じるべきはひかり号でしたね。

【5 列車目：JR 常磐線 特急ひたち 25 号　品川 18:45 発→土浦 19:39 着】

最後は座って帰りましょう。920 円で着席する権利を買えるなら安いものです。

---

[7] これは次の日が登校日だからです。青森の時も同じようなパターンでしたね。

Chapter 5 ：まとめ

名古屋日帰り旅行を完走した感想ですが、正直に言って青森の時のそれより疲れました。主に帰りの新幹線が座れなかったせいです。ただ、名古屋の観光時間は 6 時間 30 分ほど確保できたので、前回の青森日帰りの時のスコア「滞在時間 3 時間 23 分」よりは十分な時間を取れ、満足できる日帰り旅行になりました。

次回以降はちゃんと指定席を前もって取っておくようにします。

以下、今回の旅のまとめです。ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

旅行時間：12 時間 7 分 （うち名古屋滞在時間 6 時間 34 分）
総移動距離：924.5km(土浦一高から直線で宮崎市や韓国・釜山くらい)
出費：

JR 線乗車券・特急券	￥21640
名古屋市内交通費	￥870
きしめん・ラーメン	￥910
名古屋城入場券	￥400

合計 ¥23,820

余談：次回予告

次回の日帰り旅行は飛行機を解禁するかもしれません。

新幹線で行けるちょうどいい日帰り先が少ししか思いつかないのですよね…。新幹線で行ける所を考えると、秋田、函館は距離こそちょうどいいもの、移動時間が長いので断念。仙台、山形、福島、長野などは近すぎ。関西圏は、今回の旅で名古屋に行ったので、方面がかぶってしまうから避けましょう。そうなると、金沢・富山くらいしか候補に挙がりません。富山の氷見に寒ブリ食べに行くとかアリですね。

新幹線にこだわらないとしますと、北海道(札幌・新千歳)、四国、福岡あたりが候補に挙がります。九州四国の各地方空港は市街地から離れているので日帰りでは行きにくいかもしれません。となると市街地に近い博多か交通アクセスのよい新千歳か…。あるいは修学旅行が楽しかったので台湾とか。

飛行機は高くつくのではないか、というご意見が届きそうですが、意外とそんなこともないかもしれません。今回の名古屋までの旅費は片道 10,820 円。大抵の LCC は成田発で、10,000 円程度で国内どこにでも連れて行ってくれます。JAL、ANA は 25 歳以下の旅客を対象にした格安の運賃を用意しており、これをつかえば羽田から 15,000 円もあれば大体の空港に連れて行ってくれます。こうして考えてみると、飛行機も案外高くはないかもしれません。何はともあれ、次回作にご期待ください。